

令和7年秋季企画展

神流川合戦を巡る

鉢形城歴史館の令和7年秋季企画展は「神流川（かなながわ）合戦を巡る」と題し、関東の戦国史上、最大の野戦であったといわれる「神流川合戦」をテーマに取り上げます。神流川合戦は、北条氏が上野国（群馬県）まで勢力を拡大する契機となった重要な出来事です。今回の展示では、合戦ゆかりの場所の写真パネルや出土品などを展示します。

図 鉢形城歴史館(☎586・0315)

期間

10月11日(土)～11月24日(月)

※10月14日(火)、20日(月)、27日(月)、11月4日(火)、10日(月)、17日(月)は休館日

開館時間

午前9時30分～午後4時30分
(入館は午後4時まで)

場所

鉢形城歴史館企画展示室

入館料

一般200円(団体100円)、
学生等100円(団体50円)
※70歳以上、中学生以下、障害者手帳をお持ち
の方は無料
※20人以上の団体の場合は団体料金を適用

展示品

「北条滝川神流川合戦」「神流川合戦絵巻」
「厩橋城出土品」「箕輪城出土品」等



▲神流川合戦絵巻

個人蔵

寄居玉淀水天宮祭が開催されました！ 舟山車と花火が織りなす見事な競演

8月2日に「寄居玉淀水天宮祭」が開催されました。ぼんぼりで飾られた5艘の舟山車と夜空に打ち上げられた花火の競演は、夏の夜を美しく彩りました。花火と会場の距離の近さが特徴の寄居玉淀水天宮祭。会場の玉淀河原では、真上に広がる大迫力の花火と、鉢形城跡をバックに浮かぶ舟山車に乗った子どもたちのお囃子の音が鳴り響きました。

また、今年は寄居町合併70周年記念事業として、プロジェクションマッピングが行われました。荒川対岸に、色彩豊かな幻想的な映像を投影し、合併70周年を迎えた寄居町の歴史に新たな色と光を添えてくれました。



こちら編集室

●厳しい残暑が続く、まだまだ夏の熱気が町に漂っているような気がしてなりません。8月2日に開催された寄居玉淀水天宮祭も町が熱気に包まれました。今年は合併70周年記念事業としてプロジェクションマッピングが実施されました。祭会場での撮影を担当していた私も、カメラを構える手を止めて見入ってしまった。●今月号の特集では、もうすぐ運行開始から1年を迎える移動販売車「うえたん号」を紹介しました。取材で訪れた各地区では、買い物をする人々の姿が印象的でした。かつて井戸端で水汲みや洗濯をしながら人々が交流していたことから生まれた井戸端会議という言葉がありますが、うえたん号はまさに現代版の井戸端といえる存在だと感じました。●暑さも少し落ち着くこの季節、買い物とちよつとしたおしゃべりをしながら、近くまで来てみるとうえたん号に立ち寄ってみてはいかがでしょうか。②

寄居町公式SNS随時情報発信中！



◀町公式YouTubeチャンネルでは、行政情報やイベント情報を動画で紹介しています。8月2日に開催された寄居玉淀水天宮祭の様子も公開していますので、ぜひご覧ください。



YouTube

8月1日の町人口

31,439人 男15,668人 女15,771人 世帯数15,261世帯

7月中の動き

出生9人 死亡30人 転入111人 転出97人